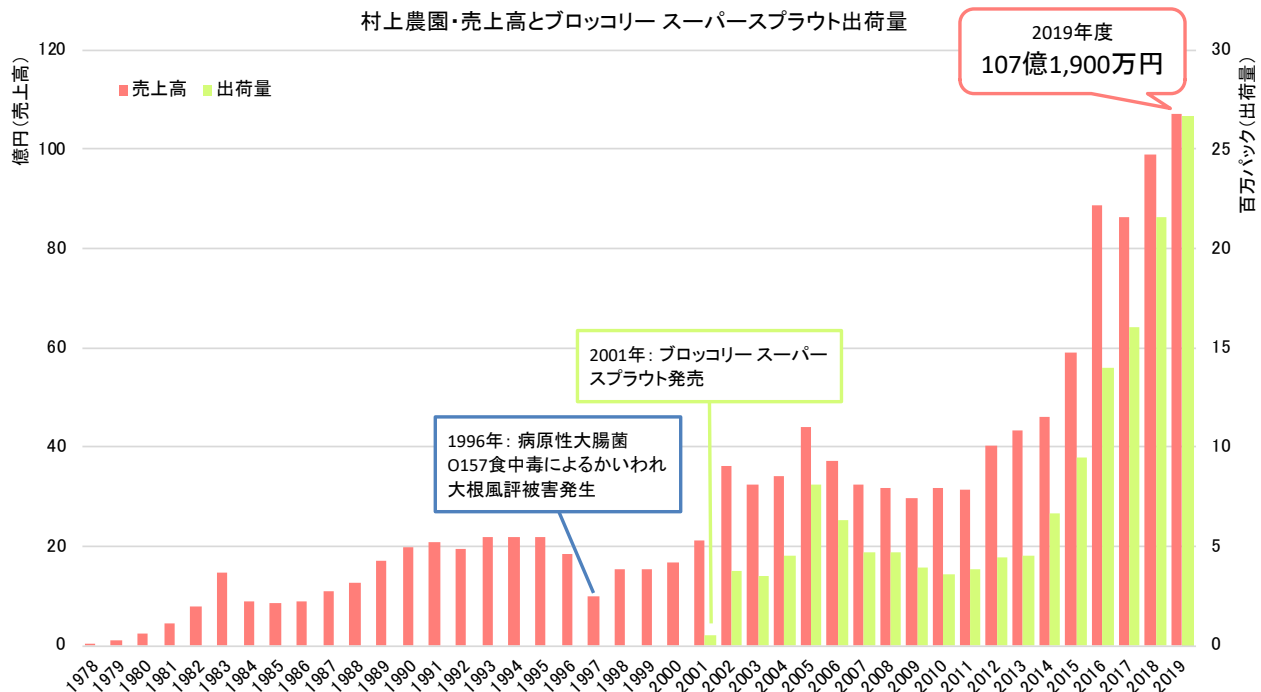


# 村上農園、自社生産野菜の販売額で 初の100億円を突破(2019年12月期)

## 高成分野菜「ブロッコリー スーパースプラウト」好調 出荷量6年で6倍

株式会社村上農園(本社:広島市、代表取締役社長:村上清貴)は、2019年度の売上高が過去最高の107億1,900万円を記録し、自社生産野菜の販売額でも初の100億円を突破しました。これは、きのこやもやしを除く野菜の生産・販売会社では国内で初めてのことです。



### 好調のブロッコリー スーパースプラウト

#### 2020年秋・新たな生産拠点開設でさらなる生産強化

過去最高の売上高を記録した背景には、主力商品である「ブロッコリー スーパースプラウト」の出荷が好調だったことが挙げられます。ブロッコリー スーパースプラウトは、米国ジョーンズ・ホプキンス大学で開発され、有用成分「スルフォラファン」を一般的なブロッコリーの20倍以上含んだ「高成分野菜」です。村上農園は、同大学と日本国内における独占ライセンス契約を結び、2001年に生産を開始しました。近年、消費者の健康志向が高まる中、肥満や老化、疾病に対する効果が注目され、出荷量はここ6年で約6倍に伸びています。

需要の伸びに生産量が追いつかない事態も生じており、2020年秋には既存



生産施設の 2 倍強の生産能力を持つ新たな生産拠点「スーパースプラウトファクトリー山梨」の開設を予定しています。



図：2020 年秋開設予定の「スーパースプラウトファクトリー山梨」の完成イメージ

### 代表取締役社長 村上清貴のコメント

2011 年の売上高がわずか 31 億円だった当社が、この 8 年間で平均年率 17% の高成長を果たし、昨年は自社生産野菜で初の 100 億円を突破しました。一般的な野菜販売が振るわない中、健康成分を野菜から摂取する流れは年々高まりをみせており、需要が急拡大してきています。これらに対応するため、山梨県と宮城県に大規模な生産施設を建設中で、完成すれば 200 億円規模の生産体制となります。北海道や関西でも新たな生産施設を検討しており、ブロッコリー スーパースプラウトと豆苗の生産能力拡大と、新野菜「マイクロハーブ」等の販売を強化することで、2025 年に売上高 300 億円を目指します。

### 村上農園 会社概要

|        |  |
|--------|--|
| 設立     | 1978 年 1 月   |
| 代表者    | 代表取締役社長 村上清貴   |
| 売上     | 107 億 1,900 万円(2019 年 12 月期)※うち自社生産品の販売額 105 億 3,900 万円            |
| 事業内容   | スプラウト、豆苗(とうみょう)、かいわれ大根など発芽野菜と高成分野菜の生産・販売                           |
| 事業所    | 本社・研究開発部(広島)<br>生産センター(千葉、神奈川、静岡、山梨、三重、広島、福岡)<br>営業所(東京、名古屋、大阪、広島) |
| 関連会社   | 株式会社沖縄村上農園(沖縄県大宜味村)  |
| ウェブサイト | <a href="http://murakamifarm.com">http://murakamifarm.com</a>      |

このリリースは下記の記者クラブ・記者会にお届けしています。

○東商記者クラブ ○農政クラブ ○農林記者会 ○広島経済記者クラブ

【お問い合わせ先】(株)村上農園 広報マーケティング室 担当：篠田・中山

TEL:03-6453-0392/FAX:03-6453-0393/携帯(篠田):080-2943-6147

E-mail: [shinoda@murakamifarm.com](mailto:shinoda@murakamifarm.com) 住所:東京都港区芝公園 1-8-4 NREG 芝公園ビル 4 階